

いつも、インシデント報告ありがとうございます。

2011.12.1

# 京大病院医療安全情報⑩

## 【血栓塞栓症予防対策】

マニュアルを改訂しました。旧版に比べて実用的に変更しました。

### 術後静脈血栓塞栓症予防対策マニュアル 第2版

京都大学医学部附属病院 術後静脈血栓塞栓症予防対策ワーキング・グループ 2011年12月1日

#### 要約

「術後」血栓塞栓症発症のリスク分類とそれに基づいた予防策が記されています。

# 京大病院医療安全情報⑩

2011.12.1 作成 第2版

## ダイジェスト版 術後静脈血栓塞栓症予防対策マニュアル

- <推奨予防対策> リスク評価については本文参照のこと
- 低リスク 早期離床・積極的な運動
  - 中リスク 弾性ストッキング または 間欠的空気圧迫法
  - 高リスク 間欠的空気圧迫法 + 抗凝固療法<sup>\*1</sup>
  - 最高リスク 間欠的空気圧迫法 + 抗凝固療法<sup>\*1</sup>、循環器内科の指示に従う  
(下大静脈フィルターの必要性を判断する)
- \*1 出血のリスクを考慮して判断する。

### <抗凝固療法>

薬剤名	用法用量
クレキシサン	1回 2000 単位を 1日 2回皮下投与 CCr が 30~50mL/min の患者は 2000 単位を 1日 1回
ヘパリンカルシウム	1回 5000 単位を 1日 2回皮下投与
ノボ・ヘパリン	1日 10000 単位を持続点滴または皮下投与
アリクストラ	1回 1.5mg を 1日 1回皮下投与
リクシアナ	1回 30mg を 1日 1回投与 CCr が 30~50mL/min の患者は 15mg に減量

### <抗凝固療法と区域麻酔との併用時の注意点>

	ノボヘパリン静注 ヘパリンカルシウム皮下注	クレキシサン皮下注	アリクストラ皮下注
薬剤最終投与後の穿刺	4 時間	12 時間	禁忌
穿刺後の薬剤投与	1 時間 穿刺時出血 <sup>*1</sup> : 6 時間	脊麻 6 時間 硬麻 10 時間 穿刺時出血 <sup>*1</sup> : 24 時間	24 時間 穿刺時出血 <sup>*1</sup> : 禁忌
薬剤投与後の硬膜外カテーテル抜去	4 時間	12 時間	20 時間
硬膜外カテーテル抜去後の薬剤投与	1 時間	2 時間	2 時間

\*1 穿刺時に硬膜外静脈叢から出血した場合